

第Ⅱ分野 高齢者の海水浴場に対する意識調査

関西大学工学部 正会員 井上 雅夫 関西大学大学院 学生員 端谷 研治
 関西大学工学部 中川 良平 関西大学工学部 学生員○吉村 隆生

1. まえがき

この研究の目的は、高齢社会における海岸の果たすべき役割を明らかにすることである。そのため、茨城県大洗、明石市大蔵海岸などにおいて、高齢者を対象とした海水浴場に関するヒアリング調査を行った。また、吹田市の高齢者を対象としたアンケート調査も行い、高齢者の立場から現在の海水浴場に対する問題点を明らかにしようとした。

2. 調査内容

ヒアリング調査は、茨城県大洗町の大洗サンビーチ(調査日、99年8月4日および5日)、明石市大蔵海岸(同、99年8月16日および26日)および神戸

表-1 ヒアリング調査の対象者数

年齢	大洗サンビーチ			大蔵海岸			須磨海岸		
	男性(人)	女性(人)	計(人)	男性(人)	女性(人)	計(人)	男性(人)	女性(人)	計(人)
50代	10	3	13	1	3	4	0	0	0
60代	7	9	16	4	2	6	3	0	3
70歳以上	14	2	16	4	0	4	3	0	3
合計	31	14	45	9	5	14	6	0	6

市須磨海岸(同、99年8月26日)で行った。大洗サンビーチは、外洋に面しており、波高が大きく、水平線を見渡すことができ、遠浅で砂浜の幅が極めて広い。また、ボランティアによって、ランディーズの使用が常時可能であり、バリアフリーの海岸として有名である。大蔵海岸は、離岸堤があり、波高は小さいが、砂浜のボードウォークや護岸にスロープのあることが特徴である。須磨海岸も離岸堤があり、波高は小さい。背後の松林は広く、遊歩道もあって、海の家が多いのが特徴である。表-1には、調査対象者数を示した。アンケート調査は、吹田市のシルバー人材センターの高齢者を対象として、99年12月に実施した。表-2には、調査対象者数を示した。

表-2 アンケート調査の対象者数

年齢	男性(人)	女性(人)	計(人)
50代	0	2	2
60代	88	13	101
70代	53	6	59
80代	3	1	4
合計	144	22	166

3. 調査結果と考察

ヒアリング調査では、調査対象者数が少ないため、統計処理はせずに、高齢者の意識をそのまま整理することにした。表-3には、海水浴場を利用している高齢者の特性を示した。これによると、近隣の利用者と遠隔地からの利用者とは、利用目的、利用者の構成、利用頻度、交通手段が異なっていることがわかる。表-4および表-5には、自然環境とサービス施設に対する要望を示した。アンケート調査では、高齢

表-3 海水浴場の高齢利用者の特性

近隣 高齢者	利用目的	・友人とのコミュニケーション ・散歩
	利用者の構成	・単独、または友人
	利用頻度	・ほぼ毎日
	交通手段	・徒歩、自転車
遠隔 高齢者	利用目的	・海水浴
	利用者の構成	・主として、孫など小さい子供を含む家族
	利用頻度	・年間1～2回
	交通手段	・自動車がほとんど

者の海水浴場の利用実態を調べた。図-1には、海岸に対するイメージを示したが、海水浴がもっとも多い。しかし、図-2に示した99年の海水浴場の利用回数では、85%の人が海水浴をしていない。図-3には、海水浴にいかなくなっ

た時期を示したが、5年前と30年前に2つのピークがある。調査対象者の平均年齢が68歳であるので、これは38歳と63歳に相当する。この年齢になると子供や孫たちが、親や祖父母と海水浴に行かなくなるためであろう。図-4には、海水浴に行かない理由を示したが、近くに海水浴場がない、海が汚れていることなどが挙げられている。なお、詳細は講演時に述べる。最後に、本研究を行うに当たり、現地調査に大いに協力してくれた大洗町商工観光課、茨城県大洗港湾事務所、大洗ライフセービングクラブ、吹田市シルバー人材センターの方々に深謝の意するとともに、調査に助力してくれた島田広昭助手、井上裕規君、谷口正典君、寺田光宏君、柴橋朋希君にも謝意を表する。

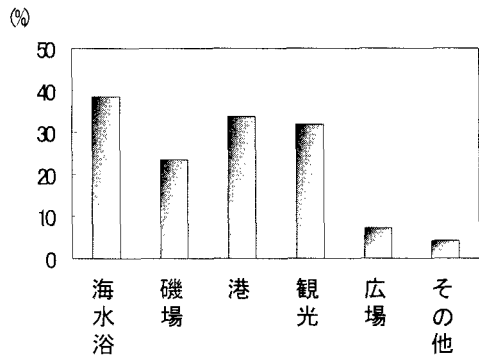


図-1 海岸に対するイメージ

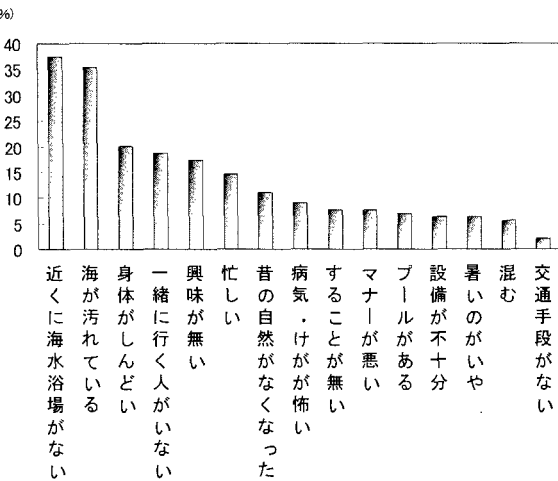


図-4 海水浴場に行かない理由

表-4 自然環境面への高齢者の要望

大洗サンビーチ	・波高が大きすぎて、泳げない日がある。 ・砂浜が広すぎる。
大蔵海岸	・波高のもっと大きい波がほしい。 ・離岸堤によって景観が遮られる。 ・水上バイクが禁止されているので静かである。
須磨海岸	・波高のもっと大きい波がほしい。 ・水上バイクの音がうるさい。
共通	・日差しを避ける松林、ビーチパラソル、東屋を設置してほしい。 ・自然のままの砂浜を望む。 ・堤防、消波ブロックを撤去してほしい。 ・海水浴場に流れている音楽が不快である。

表-5 サービス面への高齢者の要望

大洗サンビーチ	・トイレ、シャワー、海の家が汀線から遠い。 ・シャワー、更衣室の利用料金が割高である。 ・高齢者のランディーズに対する認識が低い。
大蔵海岸	・ボードウォークが好評である。 ・トイレ、シャワーの数が不足している。
須磨海岸	・利用者のマナーが悪い。 ・イベントが多く開催され楽しい。 ・ゴミ、花火のカスが多く散らかっている。
共通	・海水浴場施設の利用料金が低い。 ・海をのメニューが少なく、まずい。 ・一年中利用できる砂浜沿いの飲食店を設置してほしい。

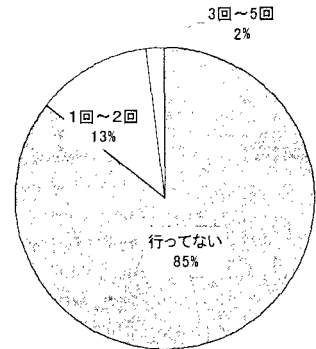


図-2 1999年の海水浴場の利用回数

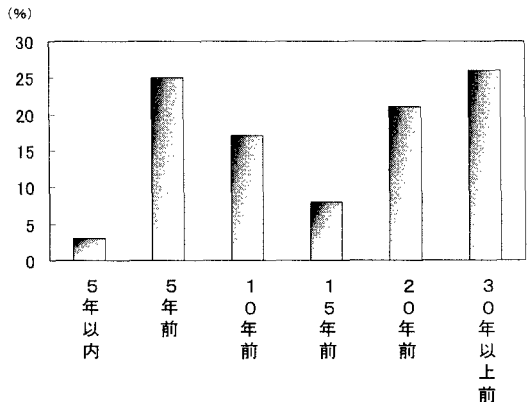


図-3 いつから海水浴場に行っていないか